

出典・参考図書・関連情報  
(青文字はリンクしています)

## 資金の調達

森林手入れには資金が必要になります。行政の補助金制度や民間の寄付金などで機材購入や活動の資金を調達することもできます。

### ■ 神奈川県「もり・みず市民事業支援補助金」制度

水源環境保全・再生を目的とした市民団体活動に財政的支援をするもので、12月に次年度募集があります。

<補助対象事業>

<窓口>

神奈川県  
環境農政局緑政部  
水源環境保全課  
調整グループ

申請区分	補助の対象となる事業区分
(1) 特別対策事業区分	森林の保全・再生事業 ○水源の森林づくり事業の推進 ○丹沢大山の保全・再生対策 ○溪畔林整備事業 ○地域水源林整備の支援
	間伐材の利活用促進事業 ○間伐材の搬出促進
	河川・地下水の保全・再生事業 ○河川・水路における自然浄化対策の推進 ○地下水保全対策の推進
	その他の特別対策事業 ○県内ダム集水域における公共下水道の整備促進 ○県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進 ○水環境モニタリングの実施
(2) 普及啓発・教育事業	水源環境保全・再生に関する普及啓発・教育事業区分
(3) 調査研究事業	水源環境保全・再生に関する調査研究事業区分
(4) 資機材の購入	資機材の購入区分

左図：[神奈川県 市民事業等支援制度]より

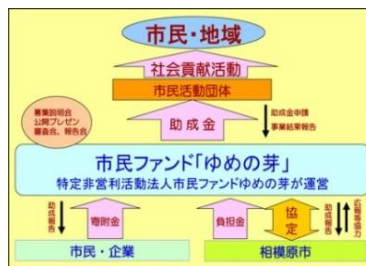
[神奈川県水源環境保全課調整グループ]

### ■ 相模原市 市民ファンド「ゆめの芽」

相模原市も協働運営しているもので、市民や企業からの寄付金で社会貢献活動を行う市民活動団体を財政的に支援します。支援コースはファーストステップとステップアップがあります。8月から10月に次年度募集があります。

<窓口>

相模原市市民局市民協働推進課



左図：[市民・行政協働運営ファンド「ゆめの芽」]より

[相模原市市民協働推進課]

### ■ 相模原市「協働事業提案制度」

みんなが抱える悩みを市民と市がお互いに役割分担して協働することによって、効果的に解決していくしくみのひとつとして平成20年にスタートした制度で新たな取り組みを提案できます。6月に次年度募集があります。

<事業提案の種類> 事業提案には次の3種類があります。

- ①市民提案型協働事業 ②行政提案型協働事業 ③アイデア提案

<窓口と協働部署>

相模原市市民局市民協働推進課に提案書を提出したあと、市の協働部署が決まります。

[相模原市 協働事業提案制度]

### ■ その他の補助事業制度（神奈川県）

神奈川県には森林整備や林業促進のための補助事業が多数用意されていますので、森林所有者が本格的に森林

#### ① 水源の森林エリア



<窓口>

神奈川県  
県央地域県政総合センター  
農政部森林保全課

- A 自ら森林整備を行って、将来は木材を売って収入を得たい  
B 森林整備や管理を森林組合等に任せ、将来は木材から収入を得たい  
C 自らはできないため、森林整備や管理を県や市町村に任せたい

A	造林補助事業
	水源の森林づくり事業(協力協約推進事業)
	水源の森林づくり事業(水源林長期施業受委託事業)
B	水源の森林づくり事業(水源林長期施業受委託事業)
	水源の森林づくり事業(県による公的管理)
	造林補助事業
A	高年齢間伐促進事業
	地域水源林整備事業(協力協約方式)
	地域水源林整備事業(長期施業受委託方式)
B	地域水源林整備事業(長期施業受委託方式)
	地域水源林整備事業(協定林方式)
C	地域水源林整備事業(協定林方式)
	造林補助事業
A	造林補助事業

図：[森林整備をしませんか？(神奈川県)]より

[県央地域県政総合センター森林保全課]

[造林補助事業等について(神奈川県)]  
[間伐材搬出促進事業補助制度(神奈川県)]

### ■ 寄付・助成による資金調達

個人の他に企業や団体で、森林整備等環境関連の寄付や助成を行うところがありますので、条件が合えば資金提供が受けられます。さがみはら市民活動サポートセンターでも情報を得ることができます。

### ■ 事業収入による資金調達

森林関連の事業は事業収入だけで運営は難しいと言われるますが、事業収入を図ることは重要です。

[森づくりフォーラム(助成金情報)]

[さがみはら市民活動サポートセンター 助成金制度]  
[NPOWEB 助成金情報(NPOシーズ)]

[CANPAN(助成制度)]

[環境らしんばん(助成金)]